

都公中事 Kaihō

編集発行

平成17年3月22日発行 第359号

東京都公立中学校事務職員会

代表 立野忠義(足立区立第十中)

編集 佐藤重雄(板橋区立加賀中)

連絡先 〒173-0003 板橋区加賀2-19-1
03(3964)1954

吉野(清瀬)八木(八王子)井上(中野)

横山(江戸川)

平成16年度 東京都公立中学校事務職員会 研究大会が開催されました

去る、平成17年2月18日(金)に、目黒の東京都教職員研修センターで、平成16年度東京都公立中学校事務職員会研究大会が開催されました。当日はあいにく天気の崩れが予想されましたが、午前中は205名、午後は170名(第一分科会92名、第二分科会78名)、延375名の会員が集い、今年度も無事に盛大な大会を開催することができました。

午前中は、東京都教育庁人事部人事給与情報課から「給与システムについて」の行政説明がありました。午後は、福利厚生事業団から平成17年度より実施される「メニュー選択方式について」の説明があり、その後2分科会に分かれて、第一分科会においては江東支部による「**パソコンを使った事務処理**」、第二分科会においては武蔵村山支部による「**学校における施設管理**」についての研究発表が行われました。発表を担当された江東支部及び武蔵村山支部の皆さま、ご苦労様でした。

東京都公立学校事務職員研究協議会第40回研究大会が開催されました

去る12月14日(火)、東京都教職員研修センターにおいて、東京都公立学校事務職員研究協議会、節目の第40回研究大会が開催されました。

当日は晴天の中、全体会237名、分科会289名(第1分科会102名、第2分科会114名、第3分科会73名)の皆さんに参加していただきました。

午前中は、東京都教職員研修センター教授の牛丸宗尚氏による「学校教育の在り方と事務職員の関わり方」の基調講演が行われました。その後、牛丸氏と小、中、都立学校それぞれの代表事務職員とによるパネルディスカッションが行われ、活発な議論が展開されました。中でも学校事務職員の今後の関わり方として従来の事務処理型から企画・経営型へ変化してきているという部分ではパネリストも参加者も深く考えさせるものがありました。



午後からは、小学校、中学校、都立学校の三分科会に分かれ、研究討議が行われました。中学校の分科会（第2分科会）では、多摩市立和田中学校の岡田孝文氏による「Excelを使った業務改善」- Excelによる事務の効率化・事例紹介の発表があり、予定数を越える多数の参加者が出席しました。岡田氏の発表はとてわかりやすくユーモアあふれる発表に参加者は満足すると共にこのExcelの基礎知識はそれぞれの学校で実際の業務において大いに活用されることと思います。



第37回関東地区学校事務研究大会 (千葉大会)の報告

平成17年1月27日(木)から28日(金)にわたり千葉市の千葉文化会館をメイン会場として、第37回関東地区学校事務研究大会が開催されました。「ともに創ろう!新しい時代をきり拓く、学校事務を」のテーマのもと、東京からも中学校86名、小学校110名のメンバーが参加し、全体での参加者は2,178名という盛大な大会になりました。

第1日目は、開会式に続いて文部科学省課長補佐・松浦晃幸氏から行政説明が行われ、義務教育費国庫負担制度を中心に報告がありました。

その後の全体研修会では、保護司・篤志面接委員として青少年の更生保護事業と社会復帰のため様々な奉仕活動を行っている千葉紘子氏の講演がありました。「子どものサインを見逃さないで...」というテーマで行われた講演では、少年院での子供とのふれあいを中心に、苦しみを抱えた10代の子もたちとの関わりについてお話をいただきました。心のふれあい・コミュニケーションによって青少年の犯罪を未然に防ぐことや、愛情の対極は憎しみではなく無関心であることなどを心を閉ざした子供たちと関わってきた経験を交えて話され、最後には(ミニコンサート?)「折鶴」をはじめ3曲の歌を披露してくださいました。



大会2日目は第1分科会から第4分科会に分かれての研究協議会から始まりました。東京中支部からは板橋区の仲間が代表として研究発表を行いました。「子どもたちの未来を拓く 学校施設をめざして」をテーマとして「板橋区立中学校施設整備指針案と学校施設設備の手引き」と高島第三中学校におけるハーブ園やビオトープ造りに事務職員として携わった経験や雨水利用の取り組みなどについて発表がありました。

午後のメイン会場において知的障害者授産施設「千葉光の村」のメンバーによる和太鼓の実演から始まり、全体研修会「パネルディスカッション - これからの学校のあり方 - 」が行われました。

今回の大会に参加し全体を通して振り返ると、これまでどちらかと言うと画一的であった学校が時代の流れの中で特色ある学校へと変わった今こそ、各事務職員が各々の学校現場において重要なキーマンとなるべく、その地位を確立して行く必要があるのではないかと感じました。

広報委員募集中！！

広報委員会では、メンバーと一緒に活動して下さる方を募集しております。

各委員会からの報告

< 研修委員会 >

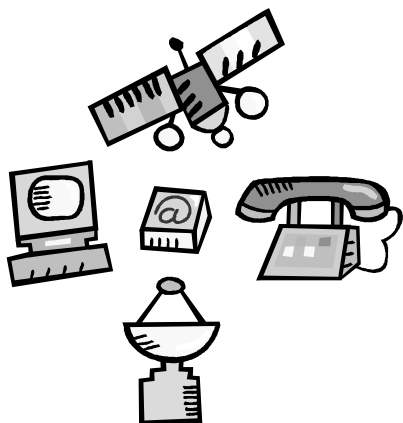
研修委員会では、平成16年度は『年金について』の研修会、フォローアップ研修会、『個人情報保護法について』、パソコン研修会を開催いたしました。多数の会員の方々にご参加をいただき、ありがとうございました。

来年度も会員の皆様に役立つ研修会を計画してまいりますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

< 調査研究委員会 >

調査研究委員会では、今年度より「情報管理」を題材とし、調査研究活動を行ってまいりました。「情報管理とは何なのか?」「17年4月に施行される個人情報保護法への取り組みをどうするのか?」「現状において学校は、的確な情報管理を行っているのか?」数回に亘る委員会活動において、このような疑問と対峙し、学校での至らない点や行うべき対応策を協議しております。

委員会活動自体が、研修委員会や広報委員会に比べ、見えづらい調査研究委員会ですが、来年度には、この「情報管理」について行ってきた活動の成果を会員の皆様に報告できるようにしたいと考えております。



<役員選出管理委員会>

活動報告

月日	項目	場所	内容
4月23日	会員名簿修正締切	選管委員長	各支部より
6月1日	第1回選管委員会	角筈区民センター	「会員名簿」校正
6月28日	会員名簿発行		
1月14日	第2回選管委員会	都教弘会館	選挙公示
2月25日	第3回選管委員会	都教弘会館	結果公示および選挙再公示
3月下旬	第4回選管委員会(予定)	都教弘会館(予定)	結果公示(予定)

今年度も都公中事は、役員欠員、委員不足のまま活動してきました。会員の皆様の積極的な参加をお待ちしています。来年度もご協力よろしくお願ひします。

<広報委員会>

今年度、最後の会報を発行することができました。

本号は、都公中事研究大会報告を中心に、併せて関東大会報告を編集いたしました。

また、今春ご勇退される会員の方からの「後輩たちへ贈る言葉」をいただき掲載いたしました。ご覧下さい。

この1年間、何とか会報を5回発行することができました。これも、会員の皆様のご協力あつてのことです。これからも、会員の皆様により良い情報提供に努めて参りたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。



都公中事WPアドレス <http://www.tocyuji.com/>



Mobile都中事アドレス <http://www.tocyuji.com/i/>



今回は葛飾支部からの活動報告をいただきましたので、ご紹介致します。

支部の研修・研究活動

葛飾支部

葛飾支部とは・・・

葛飾区中学校事務職員会は24校の都・区費事務職員で、構成されています。事務職員会は月1回、区費事務職員からなる一部会、都費職員からなる二部会、または都費・区費職員合同の合同部会のいずれかの部会形式で開かれています。

事務職員会には会活動の単位として調査研究委員会、研修委員会、広報委員会の3委員会があり（平成16年度現在）、会員はいずれかの委員会に所属し、研究や研修、情報の共有化などをおこなっています。

研修・研究活動

これらの活動は研修委員会、調査研究委員会が担当し、月1回のペースで委員会を開いています。

研修委員会・・・給与、旅費、予算執行、物品管理その他についての研修とその結果を部会で情報提供しています。

調査研究委員会・・・

次の二つの活動をおこなっています

現任研修会（区教委主催）において、委員会の一年間にわたる研究活動の結果を発表しています。

今年度は、委員会の継続した研究テーマである「学校施設設備の維持管理」に沿って、学校の給水・電気・防災設備について、図や写真を使って理解しようという発表をおこなう予定です（3月）。

「中学校研修会」として、講師による発表も含めて実務以外のテーマについても、研修をおこなっています。

今年度は「児童労働と私たちにできること」というテーマで講師による発表を行います（2月）。

会報は皆様の原稿が命です。いつも快く引き受けてくださる会員の皆様に感謝しております。また、会報へのご意見ご感想がございましたらお寄せください。